

単 元	年 組 番
三年下「修飾語」	氏 名
	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>

主語・述語とは

じゆつ

- 「何が」「だれが」・・・を示す言葉を主語と言います。
- 「どうした」「どうする」・・・を示す言葉を述語と言います。
- 「わたしは手紙を書きました」という文章では、「わたしは」が主語、「書きました」が述語になります。
- 「手紙を」と言う言葉があると、よく分かります。

修飾語とは

よく相手に伝わるように、くわしくする言葉を修飾語と言います。

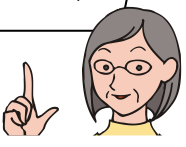
- 「わたしは、書きました」だけでは意味がよくわかりません。
- 「わたしは」 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 おじいちゃんに 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 きのう 台所で おじいちゃんに 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 きのう 台所で おじいちゃんに 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 きのう 九州のおじいちゃんに 手紙を 書きました。
- 「わたしは」 きのう 九州のおじいちゃんに 長い 手紙を 書きました。

だんだん分かりやすい文章になっていくのが分かります。「何を」「だれに」「いつ」「どこで」「どの」「どんな」に当たる言葉を修飾語と言います。そのほか、「どのくらい」「どのように」に当たる言葉も修飾語になります。

主語や述語に「いつ」「どこで」に当たる言葉をくわえていくと、分かりやすい文章になります。それを修飾語というですね。



「わたしは、食べる」に修飾語をつけくわえると、分かりやすい文章にできますよ。



三年下「修飾語」 <small>しゅうしごご へんごご</small>	単元
氏名	年組番
13問	

1 示している言葉を使って、主語と述語じゆごに修飾語をつけて、よく分かる文にしましょう。

(1)

いつ

どのように

花が、

さいた。

どの

どのくらい

どんな

2 □にあう修飾語を自分で考えて書きましょう。

(1)

いつ

弟が、

何を

見た。

(2)

どの

ねこが、何を

どのように

おいかけた。

(3)

いつ

どんな

花びんが、どのように

われた。

三年下「修飾語」	単元
氏名	年組番
3問	

1 カードをならびかえて、よく分かる文にしましょう。

(1)

楽しく  
うたった  
わたしは  
きのう  
教室を  
教室で

(2)

花を  
色とりどりの  
おばあちゃんに  
母は  
五月  
おくれた

2 主語と述語を決めて、自分で に合う修飾語を考えて書きましょう。

主語

述語